

校長室だより

No. 42

平成30年3月2日(金)

強く やさしく

六ツ美中部小学校校長

か とう よし かず
加 藤 嘉 一

今年の九九検定は、ちょっとレベルを上げましたよ

1 各学級で(担任)

- ①全ての段で、上り九九(かける数が1から9へ上がっていく)と、下がり九九(かける数が9から1へ下がっていく)と言える
- ②フラッシュカードでいろいろなかけ算をその場で答える

2 校長室で(校長)

- ①いくつかの段を指定するのでその九九を唱える。
- ②フラッシュカードでいろいろなかけ算をその場で答える
- ③応用編(本文で説明)

今、長放課は、九九検定に挑戦する2年生の子たちが並んでいます。今年も全員合格を目指して九九検定をしています。

今年の子たちは、ちょっとレベルを上げて検定をしています。というのは、これまでは左の「2 校長室で」の②で終わっていましたが、「③応用編」を作っています。これは、いくつか並んだシールのシートを見せ、

加藤「できるだけ早くシールの枚数を数えるにはどうする？」

と聞いています。すぐにかけ算の式を言う子もいれば、違う問題が出たと思って、「2, 4,

6, 8, ……」と指二本を使って数える子がいます。そのときは、

加藤「もう一つ、習ったやり方で早く計算できる方法はある？」

と聞くと、その子も「あっ」と言って、かけ算を引っ張り出してきます。そして、

子供「 6×5 で、ろくご30」

と言います。(もちろん 5×6 もOK) さらに、

加藤「どうやって、 6×5 って決めたか教えて？」

と聞きます。すると、

子供「縦のシールを数えると、1, 2, 3, 4, 5, 6

個あって、これが5列あるから、 6×5 でろくご30。」

ときちんと説明します。2年生の先生方が、説明する力までつけていてくれることがわかります。2年生、がんばっていますよ。



指導はつながる ー子供の成長を見取る担任たちー

昨日1日(木)の5時間目は「6年生を送る会」でした。インフルエンザが流行してできなかったらかわいそうだと毎年心配しています。今年も全校で数人休み、その子たちはとても残念だったと思います。6年生を楽しませたり、感謝を

伝えたりする出し物を各学年が披露するために、短い時間ですが練習をします。このことについて、以下のような教師メモを見つけました。

【9月末 A先生の教師メモ】

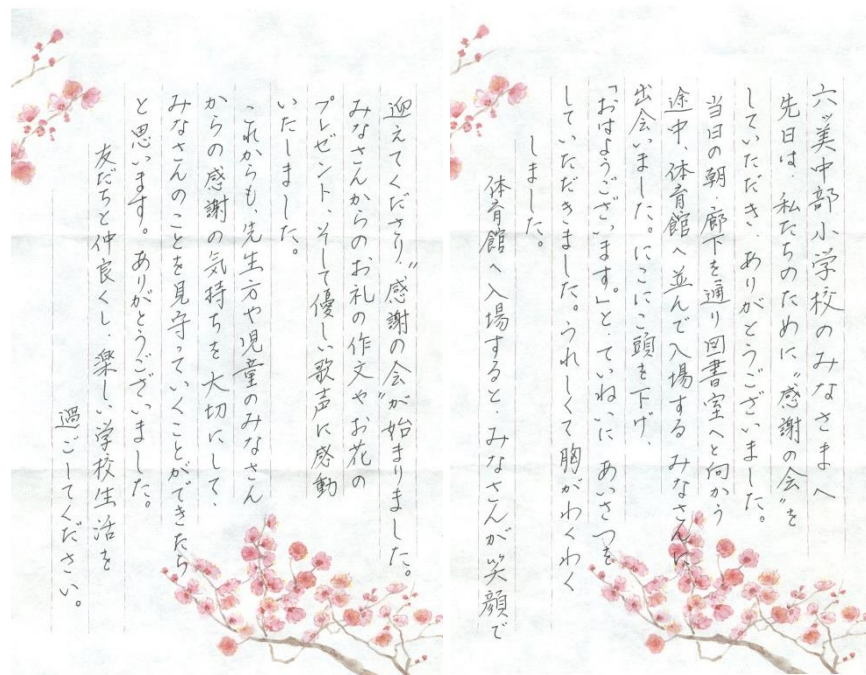
学芸会の練習に、本格的に入った。「子供たちの手でつくる」を念頭において、指導している。せりふの言い方も、場面ごとに班に分け、自分たちで考えさせ、それを生かしていくという方法をとっている。能率は非常に悪い。しかし、子供たちに場面の状況や登場人物の思いを踏まえて考えさせることは、表現力を養うことにつながると考える。

【2月末のA先生の教師メモ】

6年生の送る会の出し物を子供たちが考えている。〇年生の子供たちは、替え歌を考えたり踊りを考えたりすることがとても好きなようである。初日に歌詞まで決めておいたところ、次の日には何人かが自主的に相談して踊りを考えてきていた。このような前向きな動きを大いに称賛し、周りの子にも刺激を与えたい。

9月に学芸会で育てた力が、今2月になって自主的に踊りを考える姿に育っています。この学年だけでなく、昨日は各学年がその学年の最後の姿らしく、見事に力を発揮し成長した姿を披露していました。感動と笑いと涙がありました。

力を入れてもそのときには見えない教育の力があります。中部小の子たちは、教科では学ばない人として生きる力を身につけ、さらに生かしていくことでしょう。



いただいたお手紙の紹介
二一日(水)、子供たちのボランティアをしていただいた方に、ささやかな「感謝の会」を開いたところ、左のようなお手紙をいただきました。本当にありがたく思います。感謝。

学校診断アンケート結果 来週配付予定

学校診断アンケート結果とその分析について、学校評議員会で御高評をいただきました。来週に配付する予定です。御協力ありがとうございました。